

平成29年度 農地利用担当部長の目標宣言

部長メッセージ	経済環境部 農地利用担当部長 松浦 宏聡
<p>本市の農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や担い手不足、有害鳥獣による農作物被害などを要因として、農家数の減少、農地の荒廃化や耕作放棄地の増加の傾向が見られます。</p> <p>さらに、新東名高速道路等の広域幹線道路やインターチェンジの開通などを間近に控え、交通アクセスの飛躍的な向上により、農地を含め産業用地の創出等が求められています。</p> <p>この現状を踏まえ、私は、農地中間管理事業の取組による担い手への農地の集積・集約化のほか、各種施策を効率的かつ効果的に活用し、荒廃農地の発生防止と解消、多様な担い手の育成・確保、農業の6次産業化や有害鳥獣対策の取組等を推進し、魅力と活力のある伊勢原農業の振興に努めます。</p> <p>また、交通アクセスの向上と大都市近郊の地域特性を活かした農林業と他産業の連携及び地域産業の強化を図るため、都市部局と連携して調和のとれた土地利用の構築を図ります。</p> <p>これらの取組により「第5次総合計画」、「中期戦略事業プラン」及び「いせはらシティープロモーション推進計画」の早期達成に努めます。</p>	
部の主な役割	部を構成する課等
<p>農業振興課の所掌事務(農林整備担当を除く。)のうち、農地利用を始めとした本市の農業振興施策全般に関する指導及び総合調整機能を発揮します。</p>	<p>農業振興課</p>

部の取組方針	
1	<p>【農地の集積・集約化、担い手の育成・確保に向けた取組を推進します】</p> <p>優良農地の確保と農地中間管理事業を活用した担い手への農地の集積・集約化を進めるとともに、個人や法人等多様な担い手の育成・確保を図ります。さらに、荒廃農地の担い手による活用を促進し、解消に努めます。</p>

具体的な取組と達成目標				進捗状況 達成状況
NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	
1	<p>農業経営基盤強化対策事業の推進 (農業振興課)</p>	<p>農地の集積・集約を図る担い手や就農初期の青年就農者を支援するとともに、優良農地の確保に向けて、荒廃農地の整備による担い手への再活用を促進することにより、次世代の農業を担う経営感覚に優れた農業経営体(認定農業者等)を地域農業の担い手として育成・確保します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理事業及び農地集積事業 5ha ・農業次世代人材投資資金(旧青年就農給付金) 2人 ・荒廃農地整備 0.5ha 	

